



センサー水栓

取扱施工説明書

施工前・使用前に必ずお読みください。

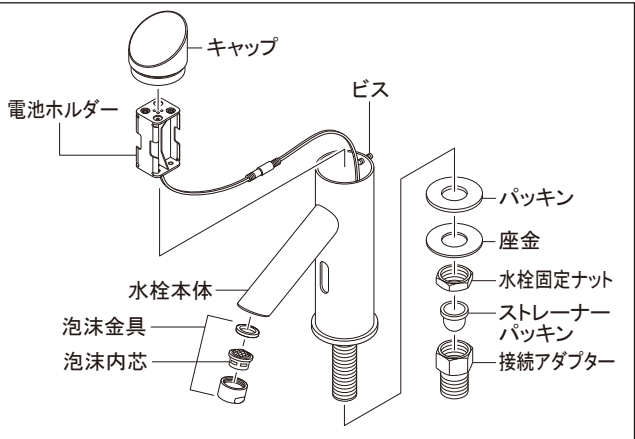
お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
この取扱施工説明書は、別紙「安全上のご注意」と合わせてご使用ください。

このたびは、センサー水栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ました。

製品同梱明細・各部のなまえ

センサー水栓	○
パッキン	○
座金	○
水栓固定ナット	○
ストレーナーパッキン	○
接続アダプター	○

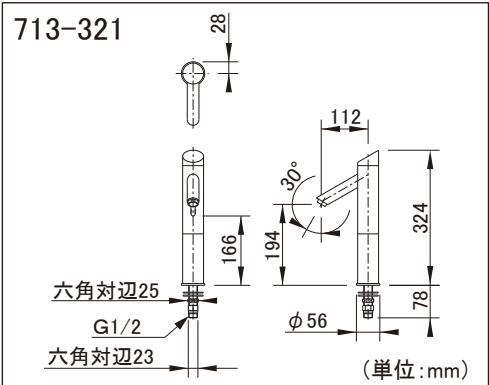
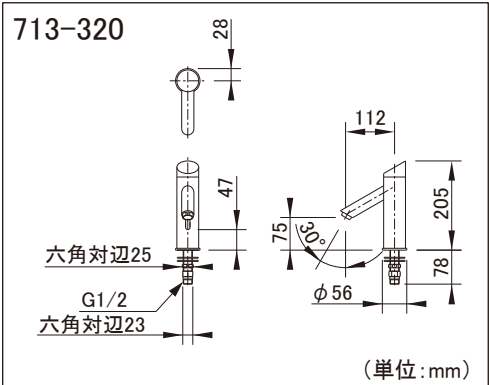
* 上記部材に加えて、
●取扱施工説明書 ●取扱シール
●安全上のご注意 ●保証書
●六角レンチ (対辺2ミリ) を同梱しています。
* 別途、1.5V単3形アルカリ電池(4個)をお買い求めください。



仕様・寸法図

電源	1.5V単3形アルカリ電池4個
電池寿命	約2年(100回/1日を目安とする) * 1
検知距離	センサー部より約130ミリ～160ミリ * 2
使用流体	上水道水
給水圧力使用範囲	0.05MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧)
使用室温範囲	室温:1℃～50℃
使用水温範囲	水温:1℃～50℃ * 凍結不可
洗面台取付穴設置可能範囲	穴径22ミリ～27ミリ 厚さ5ミリ～30ミリ * 3
用途	パブリックおよび一般住宅洗面用

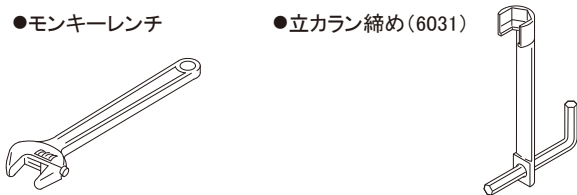
* 1: 使用条件、環境により異なります
* 2: 大人の手のひらに対する距離
* 3: 穴径35ミリに取付ける場合は、単水栓取付アダプター(107-812:別売)をお買い求めください。
その場合は設置可能な厚みは10～30ミリになります。



施工に必要な工具

●モンキーレンチ

●立カラン締め(6031)



取付けの前に

●使用条件(給水圧力)の確認

* 使用給水圧力範囲は0.05MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧)です。
* 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
* 快適にご使用いただくためには、0.2MPa程度の給水圧力をおすすめします。
* 本製品は水用です。給水温度は50℃以下にしてください。

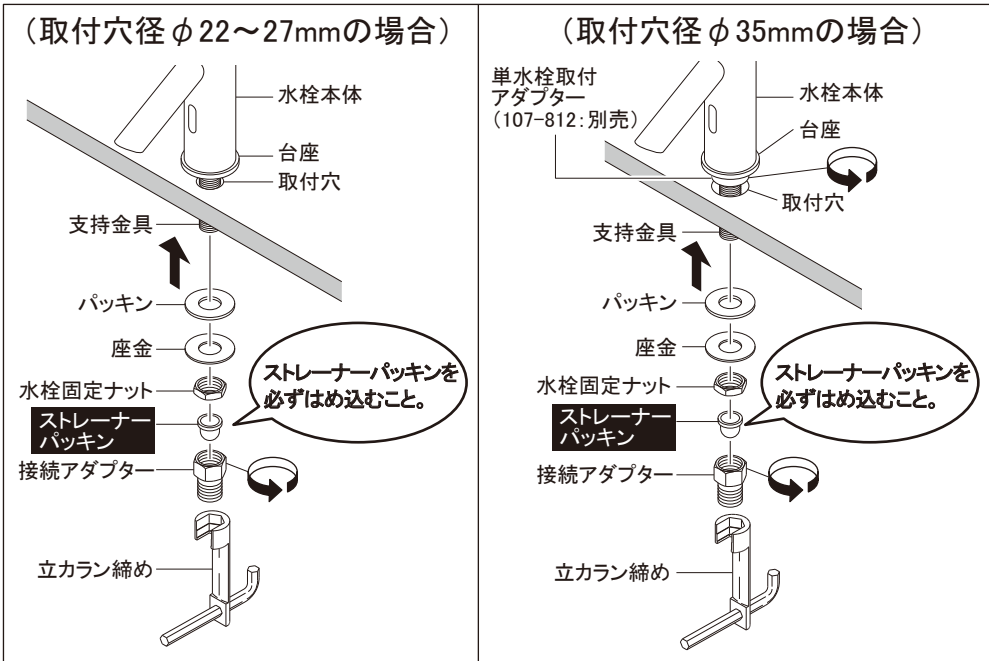
●その他

* ステンレス製の器と組み合わせると、誤作動を起こす恐れがあります。
* センサーを傷つけないように十分にご注意ください。
* 温風乾燥機など赤外線を用いた機器と合わせて使用する場合は、それらの機器の赤外線ビームが本品のセンサーや陶器(手洗器)内に入らないようにしてください。
* インバーターや赤外線を用いた機器により誤作動する場合があります。
* センサーの検知領域内に障害物が入らないようにしてください。
* 本製品は屋内用です。屋外では使用しないでください。
* 梱包前に通水検査をしているため、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題はありません。

取付方法

* 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉めて取付作業を行ってください。

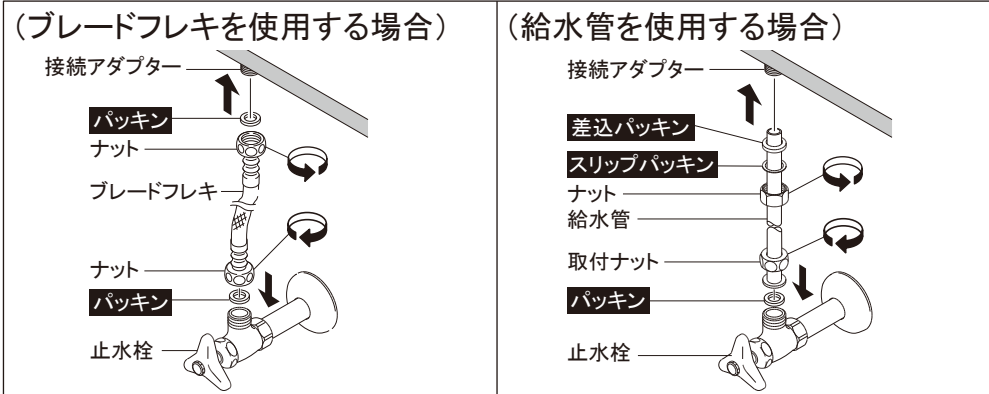
1. 水栓本体を取付けます。



- ①パッキン・座金・水栓固定ナットを水栓本体から取外します。
- ②台座の下にOリングがついていることを確認してから取付穴に支持金具を通し、吐水口が正面を向くようにします。
取付穴径φ35mmの場合は、単水栓取付アダプターを支持金具の根元までねじ込んでから取付穴に通します。
- ③イラストのようにパッキン・座金・水栓固定ナットを支持金具に通してから、水栓固定ナットを「立カラン締め」などでしっかり締付けます。
- ④ストレーナーパッキンを接続アダプターにはめ込んでから接続アダプターを支持金具に「レンチ」などでしっかり締付けます。

* 水栓内部への砂やゴミ、さびなどの異物流入による不具合は無料修理の対象外(有料修理)となりますのでストレーナーパッキンは必ずはめ込んでください。

2. 止水栓と接続します。



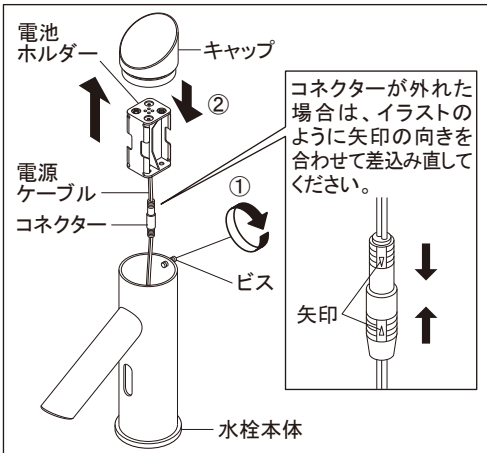
- ①パッキンをブレードフレキのナットにはめ込みます。
* ブレードフレキはブレードフレキ(798-22×200～900:別売)をご使用ください。
* パッキンの入れ忘れにご注意ください。
- ②ブレードフレキのナットにパッキンが入っていることを確認してから、接続アダプター・止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。



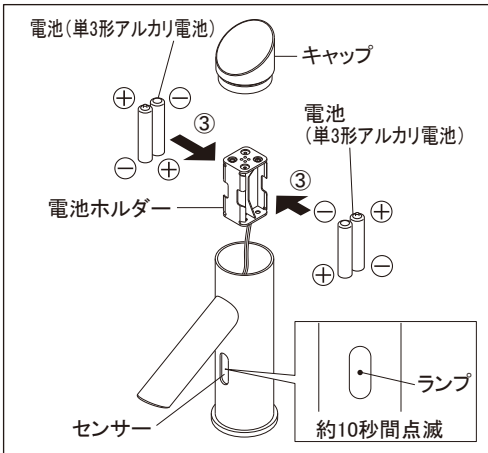
注意

止水栓との接続には、ブレードホースのご使用をおすすめします。フレキパイプを使用される場合、衝撃音発生 の要因となります。また配管の固定が確実でないと、ウォーターハンマー等の振動により破損する恐れがあります。

3. 電池を取付けます。



- ①本体後ろ側のビスを付属の六角レンチでゆるめてキャップを水栓本体から取外します。
* キャップを取外す際に、電源ケーブルのコネクターが外れた場合は、イラストのように差込み直してください。
- ②キャップから電池ホルダーを取外します。



- ③電池を電池ホルダーに取付けます。
電池を取付けると、「カチッ」という作動音が1回あり、センサーのランプが約10秒間点滅します。作動音がなく、センサーのランプが点滅しない場合は、電池の極性(⊕⊖の向き)を確認して取付け直してください。
* 電池を取付けるとセンサーが初期設定を行いますので、センサーに手や体を近づけたり、陶器(手洗器)内に障害物を置いたりしないでください。
- ④①～②の逆の手順でキャップを元に戻します。



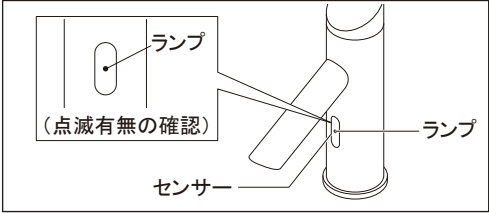
注意

●電池は必ず1.5V単3形アルカリ電池を使用してください。(マンガン電池などの使用はしないでください。)
●電池を取付ける際は、極性(⊕⊖の向き)を間違えないように取付けてください。電池の破損や、液漏れにより、ケガをしたり周囲を汚損する原因となる場合があります。
●新しい電池と古い電池や、異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂や、液漏れにより、ケガをしたり周囲を汚損する原因をなる場合があります。
●電池を取付ける際は、水栓本体内に水が入らないように注意してください。
●キャップを元に戻す際は、電源ケーブルをかみ込まないように注意してください。

裏面へ続く➡

取付方法(つづき)

4. センサーを確認します。



センサーに手をかざしたり、陶器(手洗器)内に障害物を置いたりしていない状態で、センサーのランプが点滅(約0.5秒間隔)していないことを確認します。

*** ランプが点滅している場合は、電池を取付けた際に、センサーに手や体が近づいていたり、センサーの前に障害物があったためのエラー表示です。その場合はセンサーの前に手や障害物などがいないことを確認してから、電池を取付け直してください。**

取付後の点検

水を出す



- ① 止水栓を開き、各部に漏水がないかを確認します。
止水栓を開いた際に吐水口からの水が止まらない場合には、一度止水栓を閉めてから電池を取付け直してください。
吐水口に定流量弁を内蔵していますので、通常は流量の調節は不要です。**ただし、高水圧の場所で使用される場合、吐水した水をセンサーが検知し、水が止まらないことがあります。その場合は止水栓で流量を絞ってください。**
漏水が発見された場合は、止水栓を閉めて漏水する箇所を施工しなおしてください。
- ② 吐水口に手を近づけて水を出し、各部に漏水がないかを確認します。
漏水が発見された場合は、止水栓を閉めて漏水する箇所を施工しなおしてください。
水が出ない場合は、**取付方法「3.電池を取付けます。」の手順に戻って、確認してください。**
取付後に初めて水を出す場合は、約10～20秒間連続して水を出して流量を安定させてください。
* 吐水口から手を離すと約1～2秒で水が止まります。
* 手を近づけた状態で、約30秒間連続して水を出すと、センサーのランプが点滅(約1秒間隔)して自動的に水が止まります。再び水を出す場合は、一度手を吐水口から離してください。

使用方法

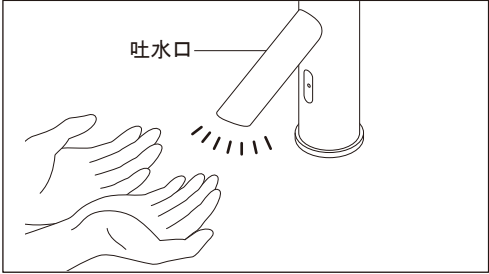
水を出す



吐水口に手を近づけると、センサーのランプが1回点滅して水が出ます。

*** 手を近づけた状態で、約30秒間連続して水を出すと、センサーのランプが点滅(約1秒間隔)して自動的に水が止まります。再び水を出す場合は、一度手を吐水口から離してください。**

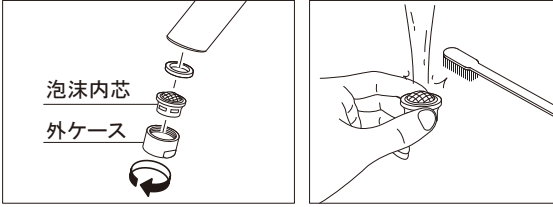
水を止める



吐水口から手を離すと約1～2秒で水が止まります。

お手入れのしかた

泡沫内芯のお掃除



最初お使いになっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、泡沫内芯を外して、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除いてください。

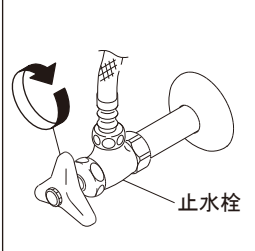
器具のお手入れ (いつまでも美しくご使用いただくために)



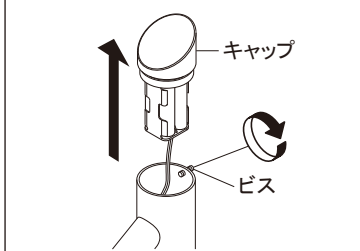
- 水栓器具の金属部は…
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみにこせた布でみがいでください。
- 水栓器具のプラスチック部・塗装面は…
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭取ってください。

注意 金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

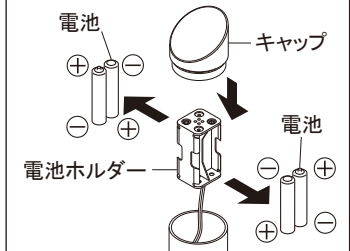
ストレーナーのお手入れ



① 止水栓を閉めて水を止めます。



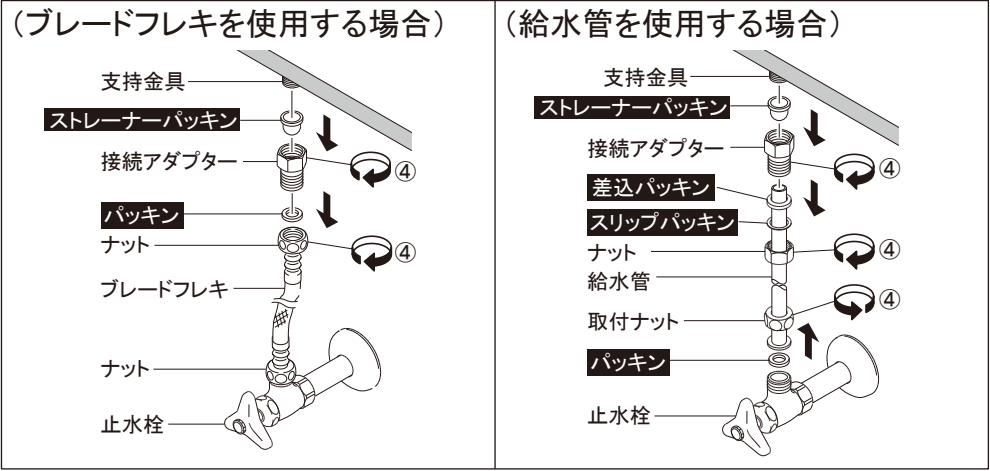
② 本体後ろ側のビスを付属の六角レンチでゆるめて、キャップを水栓本体から取外します。



③ キャップから電池ホルダーを取外し、電池を電池ホルダーから取外します。

お手入れのしかた(つづき)

ストレーナーのお手入れ(つづき)



④ イラストのように接続アダプターを支持金具から取外し、接続アダプター内にあるストレーナーパッキンを取出して、ストレーナーパッキンの網目に詰まったゴミなどを取除きます。

注意 配管内に水が残っている恐れがあります。
止水栓の下にバケツなどを置いて周囲のものを濡らさないように注意してください。

- ⑤ ②～④の逆の手順で元に戻します。
- ⑥ 止水栓を開き、各部の漏水および動作の確認を行います。
漏水が発見された場合は、止水栓を閉めて漏水する箇所を施工しなおしてください。
止水栓を開いた際に吐水口からの水が止まらない場合には、一度止水栓を閉めてから電池を取付け直してください。
吐水口に定流量弁を内蔵していますので、通常は流量の調節は不要です。
約10～20秒間連続して水を出して流量を安定させてください。

センサーのランプが点滅したときは(エラー表示)

*** ランプが点滅すると手をかざしても水が出なくなります。**

ランプ	点滅パターン	エラー内容と対処のしかた
	約0.5秒間隔で点滅 約0.5秒	電池を取付けた際に、センサーに手や体が近づいていたり、センサーの前に障害物があったためのエラー表示です。センサーの前に手や障害物などがいないことを確認してから、電池を取付け直してください。
	約1秒間隔で点滅 約1秒	センサーの検知異常を示すエラー表示です。センサーの表面の水滴や汚れ、センサーの前の障害物を取除いてください。
	約2秒間隔で点滅 約2秒	電池が消耗していることを示すエラー表示です。新しい電池に交換してください。

電池の交換方法

- ① 止水栓を閉めて水を止めます。
- ② **取付方法「3.電池を取付けます。」**および「4.センサーを確認します。」の手順に従って電池を交換してください。
- ③ 止水栓を開きます。

こんな時には… 簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた
吐水量が少ない	● 止水栓が閉まっている。	● 止水栓を開く。
	● ストレーナーパッキンの目詰まり。	● ストレーナーパッキンのゴミを取除く。
	● 泡沫内芯の目詰まり。	● 泡沫内芯のゴミを取除く。
	● 水がきていない。	● 止水栓または元バルブを開く。
	● 止水栓が閉まっている。	● 止水栓を開く。
	● ストレーナーパッキンの目詰まり。	● ストレーナーパッキンのゴミを取除く。
	● 電池が正しく取付けられていない。	● 電池の⊕⊖を正しく取付ける。
	● 電池が消耗している。	● 新しい電池に交換する。
	● 電源ケーブルのコネクターが外れている。	● コネクター接続する。
	● センサー表面が汚れている。	● センサー表面の汚れを取除く。
全く吐水しない(*1)	● センサーの前に障害物がある。	● 障害物を取除く。
	● センサー表面が汚れている。	● センサー表面の汚れを取除く。
	● センサーの前に障害物がある。	● 障害物を取除く。
	● インバーターや赤外線を用いた機器が近くにある。	● 該当する機器を遠ざける。
	● 他の機器の赤外線ビームが本品のセンサーや陶器(手洗器)内に入っている。	● 該当する機器を遠ざける。
止水不良	● 水が止まらない(*2)(*3)	

- *1: センサーのランプが点滅しているときは「センサーのランプが点滅したときは(エラー表示)」を参照してください。
- *2: 吐水口から手を離して約30秒間で水が止まる場合は、センサー表面の汚れやセンサーの前にある障害物の有無を確認してください。
- *3: 高水圧の場所で使用される場合、吐水した水をセンサーが検知し、水が止まらないことがあります。その場合は止水栓で流量を絞ってください。

修理を依頼されるときは

品番
713-320
HL

上記の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問合わせください。品番は、本体裏に貼付してあるラベルで確認してください。

分解禁止

説明書に記載された箇所以外は絶対に分解したり、改造・修理しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。